

項目	評価	コメント
I 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について	評価	A
復興支援業務	AA	被災企業等の巡回支援、技術支援に精力的に取り組み、目標を大幅に超過達成している点を高く評価する。その他放射能濃度を簡易に測定する手法を開発するなど、時宜にかなった成果もあげている。
技術相談	AA	対象への周知では新規企業訪問数が目標値を大幅に上回っており、周知活動は十分にできている。その中で顧客満足度、相談解決度の目標を達成し、量・質共に両立できた点を評価する。
依頼試験等	A	大幅な依頼試験等件数増を達成している上に高い顧客満足度を達成した点を高く評価する。
機器貸出	A	外部資金の活用や、近隣公設試等との連携により、設備の充実を工夫し、成果発表会などを活用して外部への設備・機器のPRに努め、機器貸出件数を大幅にのばし、目標を大きく上回った。その上で高い顧客満足度を上げている点を高く評価する。
県等公共団体からの受託研究	A	受託研究課題を着実に推進しており、興味深い成果もあげているが、単純に目標値との十で評価されるべきではなく、より中期的に見ていく必要がある。
競争的外部資金を活用した研究	C	昨年度はセンター全体の研究業務の最適化を図った結果として新規競争的外部資金獲得件数が目標に及ばなかったが、中期計画進行状況は順調であり、問題をかかえている訳ではない。
企業等の共同研究・受託研究	B	新規共同・受託件数は目標値を達成していないが、顧客満足度調査ではすべて「満足」の回答であり、この点は評価できる。評価方法も年次計画ではなく、中期計画期間の累積の進行状況で評価した場合には、評価が変わる可能性がある。
自主財源研究(基盤的先導的研究)	A	新たな技術シーズに結びついたことは評価される。今後も継続して研究者の自主性、自発性を基本として研究を進めて欲しい。
事業化支援	A	目標を達成し、挙げた成果内容から研究成果が早期に企業利益につながるよう、販売促進企画等により事業化を支援したと言える。
技術相談ロードマップの着実な推進		
研究マネジメント力の強化		
講習会等	A	県内企業の人材育成と技術向上のため、企業ニーズを的確に捉えた講習会等、適時適切な企画を行った。アンケートで評価の低かった内容を解析し、今後一層の満足度向上に生かされたい。また、受講した技術者の声をHPで紹介するなど一層企業人材の育成と技術の向上をはかって欲しい。
特許実施許諾、特許流通等	C	単年度でみると企業等との共同出願件数の目標を達成できなかった。ただし、中期計画進行状況は順調であるので、単年度の評価ではなく、中期計画で評価した方がよい。その上で目標値の達成に向けて引き続き努力を続けて欲しい。
研究開発型人材育成(技術者受入型開発支援)	A	顧客満足度が高い。企業等の技術者の派遣を受入れ、企業等の技術者の派遣を受入れ、各企業の課題解決に共に取組むだけでなく、企業の技術者の育成にも積極的に取り組み、県内企業の質の向上に大いに貢献している。

次代の産業人材育成（研修生受入等）	A	インターンシップが増加することは子供のうちに研究や技術について興味をもってもらえる良いチャンスであり、若者の職業観の醸成という社会的課題への貢献をも期待する。より積極的に情報を提供し、広く受け入れ機会の充実を図る情報発信を行って欲しい。
講師・審査員等派遣	A	継続して依頼先の要望に応じて欲しい。
技術移転の推進		
情報の発信	A	年度計画は達成しているものの、企業等、関係機関のみならず、広く一般県民に周知していく努力を続けて欲しい(特に若い世代へ)。今後、より一層積極的な情報発信を行い、報道回数やHPアクセス数の増加を図って欲しい。
情報の公開	A	センターの信頼保障を引き続き行いつつ、macの環境でも崩れないHPの作成、セキュリティポリシー等の追記、サイトマップの追加などの要望に応じて欲しい。
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置		評価 A
<p>組織運営の改善について、中期計画途中でも積極的に組織再編を実施する点は評価されるが、その評価は新体制となった平成26年度において評価されるべきである。</p> <p>事務等の効率化・合理化について、職員行動予定管理システムの導入により、所内業務と窓口対応の円滑化が図られ、その成果が見られた。また、一部を除いて超過勤務対応に関しての努力も評価される。</p> <p>職員のモチベーション向上について、満足度調査において無回答に対する対応を要する。満足度の高い・低いは一概に順位だけでは判断できないと思われる。セクハラ・パワハラ等の相談窓口は職員が相談しやすくする工夫が必要。</p> <p>職員の能力開発について、職員による公募型職員研修での学びの還元ができれば尚一層良かった。</p> <p>環境マネジメントについて、エコマネジメント委員会活動によるシステムの定着が図られた。継続して環境負荷の低減に努めて欲しい。</p> <p>安全衛生マネジメントについて、労災ゼロ、交通事故ゼロ、健康診断受診率100%は評価される。継続して欲しい。</p> <p>コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施について、コンプライアンスチェックシートでの意識向上を行っている点を評価する。さらに職員のコンプライアンス意識を啓発して欲しい。中高生の産業教育支援は更に積極的な情報発信をして欲しい。被災地支援・産業教育支援等、社会貢献では地域と連携した対応を行っている。情報セキュリティの推進をより一層努めて欲しい。</p>		
組織運営の改善	A	中期計画途中でも積極的に組織再編を実施する点は評価されるが、その評価は新体制となった平成26年度において評価されるべきである。
事務等の効率化・合理化	A	職員行動予定管理システムの導入により、所内業務と窓口対応の円滑化が図られ、その成果が見られた。また、一部を除いて超過勤務対応に関しての努力も評価される。
職員のモチベーション向上	A	満足度調査において無回答に対する対応を要する。満足度の高い・低いは一概に順位だけでは判断できないと思われる。セクハラ・パワハラ等の相談窓口は職員が相談しやすくする工夫が必要。
職員の能力開発	A	職員による公募型職員研修での学びの還元ができれば尚一層良かった。
環境マネジメント	A	エコマネジメント委員会活動によるシステムの定着が図られた。継続して環境負荷の低減に努めて欲しい。
安全衛生マネジメント	AA	労災ゼロ、交通事故ゼロ、健康診断受診率100%は評価される。継続して欲しい。
コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施	AA	コンプライアンスチェックシートでの意識向上を行っている点を評価する。さらに職員のコンプライアンス意識を啓発して欲しい。中高生の産業教育支援は更に積極的な情報発信をして欲しい。被災地支援・産業教育支援等、社会貢献では地域と連携した対応を行っている。情報セキュリティの推進をより一層努めて欲しい。
III 予算、収支計画及び資金計画について		評価 A
<p>競争的研究資金その他の自己収入の確保について、競争的外部資金獲得に積極的に取り組み、中期計画期間の目標値を上回った事は高評価に値する。</p> <p>経費の抑制について、超過勤務の管理徹底により超過勤務の縮減達成を行った、経費の抑制につなげた点を評価する。</p> <p>事業の効率化について、目標を達成したことが認められた。</p>		
競争的研究資金その他の自己収入の確保	A	競争的外部資金獲得に積極的に取り組み、中期計画期間の目標値を上回った事は高評価に値する。
経費の抑制	A	超過勤務の管理徹底により超過勤務の縮減達成を行った、経費の抑制につなげた点を評価する。
事業の効率化	A	目標を達成したことが認められた。
予算、収支計画、資金計画		
短期借入金、重要財源の譲渡・担保計画、剰余金の使途		
IV その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項		評価 A
<p>施設・設備に関する計画について、目標を達成したことが認められた。</p> <p>人事に関する計画について、目標を達成したことが認められた。</p>		
施設・設備に関する計画	A	目標を達成したことが認められた。
人事に関する計画	A	目標を達成したことが認められた。
総合評価		評価 A
<p>業務の質の向上に関する目標の中、復興支援業務と基幹業務のサービス分野の取組には目覚ましいものがあり、第2期中期目標、中期計画の達成に向けて、着実に業務を進めていると判断する。</p> <p>講演会の充実や技術者の受け入れ等による、県内企業の人材育成に関し、当該企業の満足度がかなり高く、県内企業への貢献という当センターの理念の一つが高い程度に実現されており、大変素晴らしい。今後はこれらの実践や活動内容を広く県民、特に若い世代に周知し、キャリア教育の一旦を担うべく、より積極的な情報発信と、インターンシップの受け入れを進めることを期待する。</p> <p>センター職員が安心して業務に打ち込める環境のもと総合的な復興支援を今後も継続して欲しい。</p>		